

国民民主党 埼玉県第4区総支部長
埼玉県総支部連合会 代表

あさの克彦

「政治家」が変われば「政治」は必ず良くなる
そう信じて朝霞・志木・和光・新座の皆さまと
全力で行動していきます。

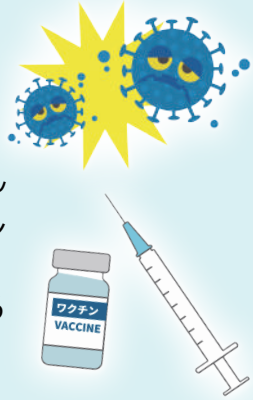
あさの克彦

検索



新型コロナワクチン 接種すべき？ しないべき？

国がコロナ対策を進める中で皆さんが今一番気になる、コロナワクチン。
ワクチンは、ある病気に対する免疫力・抗体を持たせるために打つものです。
どんなワクチンでも必ず副反応というものがあ、発熱や、重いものだとアナフィラキシー
症状というのが出たりします。
今回のコロナワクチンは世界中で初めての病原体に対して開発が進められたもので、もちろん
様々な検査をしておりますが、通常3年～5年という時間をかけて開発されるものとは少し
趣が違ってきます。
しかしそれでも、このコロナを収めるためには、国民の大部分が接種をすることが必要である
と言われております。
では実際、ワクチンが打たれた場合どうなるのでしょうか。



コロナワクチンの副反応

私が聞いたところによりますと、打った腕の痛み、
発熱、接種したところが腫れてしまう、こういった
症状があります。
重いものになると、アナフィラキシー症状と言って、
呼吸困難などの症状が出ると言われております。
今のところ、コロナワクチン接種後の死亡例等
については現在因果関係を調査中とのこと。
先ほど申し上げた軽い症状の副反応については、若
い人ほど出やすいという報告がされています。
また、二回目の接種時の方が副反応が出やすいと
いったような報告もあげられているそうです。

【症状の発現状況・時期・持続期間】

症 状	痛み	腫れ	下痢	筋肉痛	関節痛	頭痛	疲労	寒気	発熱
発現割合	84.3%	10.6%	15.5%	37.9%	23.7%	55.1%	62.9%	32.4%	14.8%
発現時期	接種当日		接種翌日						
持続期間	約2日		約1日						

【重い症状の発現状況】

症 状	痛み	腫れ	下痢	筋肉痛	関節痛	頭痛	疲労	寒気	発熱
発現割合	1.5%	0.4%	0.3%	1.8%	0.9%	2.4%	4.2%	1.8%	-

出典：海外第1/II/III相試験 (C4591001試験) 及び国内第1/II相試験 (C4591005試験)

ウイルスのリスクとワクチンのリスク

全体から見れば、重い副反応が出ない人の方が圧倒
的に多く、逆にコロナ自体にかかると、呼吸
困難、味覚障害や嗅覚障害、非常に重い呼吸器系の
疾患まで、深刻な後遺症が残るとも言われていますし、
最悪の場合は死に至ります。
このリスクを考えて、どちらを取るが良いのか。
厚生労働省の報告によれば、ワクチンを接種して副
反応が出るリスクと、接種せずにコロナにかかる
リスクを比べたときに、未だワクチンを打つメリッ
トの方が大きい、つまりコロナにかかるリスクの方が
大きい、接種を推奨するという状況が今日本で
言われている状況です。
最終的には皆さんの判断ではありますが、少なくとも、
大多数の人が接種して、集団免疫という体制が取れ
ない限りは、コロナを封じ込めることは困難です。
そのためには、ワクチンの接種というのも積極的に
考えていかなければならないと考えます。

～いっしょに「新しい答え」をつくりませんか？～

国民民主党 党員・サポーター募集！

お申込み・詳細は、国民民主党 埼玉県連ホームページ、またはあさの克彦事務所まで

国民民主党 埼玉県連HP ↓



ワクチン接種による集団免疫と併せて水際対策を

日本はこれまで海外からの渡航者に対してあまりにも甘い対応をし続けてきました。日本は島国、つまり海に囲まれていますので、陸を渡って動物がやってくる、あるいは人が入ってくるということがほぼありません。その国において、海外から変異型が入ってきてしまうのは、人がウイルスを持って入ってきてしまうことが原因であると考えられます。であるならば、最初に入ってくる港や空港で確実に止めることが大事なのではないでしょうか。

海外との往来を一切禁止するだけではなく、例えば2～3週間しっかりと隔離をすることが必要です。自宅に待機することを約束できるのであれば、帰宅を許可するのは、事実上放置しているにすぎません。やはり台湾のように強制的に隔離をさせていただき、もし外部に出た場合は、罰則・罰金が適用される、そういった厳しい対処をしない限りは、日本からコロナをしっかりと追い出すことが出来なくなってしまふと私は考えます。

防災ポスターの掲示にご協力ください

衆議院の解散総選挙まで半年を切り、公職選挙法で個人の政治活動ポスターが認められなくなり、これからはいわゆる2連・3連といわれるポスターというのを作っていくなければなりません。そこで私は、せっかく町中に貼るのなら、自分のPRをするだけではなく、市民の方々に有益な情報を出せないかと考え、一つのチャレンジをしてみました。皆さん、ご自身の家から一番近い避難場所をご存じでしょうか。国土地理院のHPによると、地震、洪水、崖崩れ、あるいは海が近ければ高潮、津波など、様々な災害ごとに避難場所がそれぞれ指定されていますが、結構知らない方が多いと思います。ましてや、例えば出掛けた先でたまたま大地震に遭い、とりあえず避難場所に行こうとしたときには、どこだかわかりませんよね？

そこで私は、ポスターの下半分に、その場所から一番近いと思われる避難場所を掲載しました。私は、様々な政治家の皆さんが真似をしてくれれば良いと思っています。そうすれば、町中にあふれる政治家のポスターを見れば、その地域の避難場所がどこかが分かるようになります。日本全国どこを旅していても、政治家のポスターを探せば、とりあえず避難場所はわかる。そういった社会が出来るのではないのでしょうか。



あさの克彦の防災ポスターの設置にご協力いただける方は、下記の連絡先までご連絡ください。



国民民主党 代表
衆議院議員

玉木 雄一郎

私も応援しています！

私もあさの克彦さんを応援しています。ぜひ、皆さまの力をお貸しください！

プロフィール

昭和 49 年 北海道札幌市生まれ
平成 10 年 北海道大学工学部卒
12 年 大学院中退後、IT 企業入社
13 年 前埼玉県知事 上田きよし秘書、後に事務所長
21 年 東京都議会議員を2期務める
30 年 タクシードライバーから
参議院議員公設第一秘書

中学・高校と柔道部に所属（初段）
好きなこと：運動、カラオケ、読書
好きな食物：白いご飯
ニックネーム：かつを
お酒：酒は弱い飲み会好き
家族：妻、長男、長女



連絡先

国民民主党 埼玉県第4区総支部
(朝霞市 / 志木市 / 和光市 / 新座市)

あさの克彦 事務所

〒351-0025

朝霞市三原 4-5-18 ベルコーポ I-102

TEL 048(483)5290 FAX 048(483)5291

E-mail info@asano-k.net